

部会名：		保土ヶ谷区地域支えあい研修			
部会長（氏名・所属先）		ほどがや希望の家		副部会長（氏名・所属先）	
				ダンボの会	
構成機関	相談支援従事者		就労支援センター		発達障害者支援センター
	障害福祉サービス事業者	5	医療機関		教育関係機関
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族
	権利擁護関係団体・者		大学等		公共職業安定所
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所
	身体障害者相談員		知的障害者相談員		民生・児童委員
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター		地域ケアプラザ
社会福祉協議会		その他		合計	6
年間目標	区内の職員同士が、顔の見える関係性をつくり、横のつながりを広げられるような研修の場を設定する				
月	活動内容				会議開催日時
4月					
5月	保土ヶ谷区作業所等連絡会、ボランティアグループしゃべる～む、保土ヶ谷区自立協との協同事業として保土ヶ谷区のネットワークを活用し、区域における人材育成を目的とした研修を年2回実施する。				
6月	年2回の研修を開催し、人材育成を図るとともに、法人や事業所の垣根を超えた職員同士の顔の見える関係性を構築できる。				
7月	「自閉症の方との関りについて」をテーマに、横浜市発達障害者支援センター安家わかこ氏を講師に招き①自閉症とは②関わり方のヒント③発達障害者支援センターとはを講義、その後、支援の際に上手く出来たこと、困っていることをグループワーク、発表・共有、最後に質疑応答・まとめを実施。				7月12日
8月					
9月					
10月					
11月					
12月					
1月					
2月	「まちで暮らすネットワーク～顔の見える関係づくり～」保土ヶ谷のネットワーク自立支援協議会と地域作業所等連絡会について知ろうをテーマに、自立支援協代表夢21石田氏・区作連代表金崎氏・地域生活拠点部会基幹相談支援センター遠藤氏より各成り立ちや役割今後に向けての取り組みなどを講演、その後、キャリア別で内容を分けてグループワークにて検討、発表・共有、最後に質疑応答・まとめを実施。				2月8日
3月					
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと 7月の研修は例年通り前回のアンケートで一番要望の多かったテーマをもとに実施することができた。2月の研修は初の試みとして地域生活拠点部会とコラボレーション企画として取り組むことができた。この研修・グループディスカッションは新人・中堅・ベテランのキャリア別とし話しやすい環境の場を設定、自己紹介・意見交換をしていく中で横のつながりがより一層深まるように工夫をした。				
	地域支えあい研修 テーマ未定 /場所：保土ヶ谷公会堂1号会議室（予定）  7月の研修ではコロナ禍ということもあり、ZOOM対応も実施したが上手く行かず苦情が多くあった。地域支えあい研修には沢山の方が参加をしてくれるが、それまでの準備等を担ってくれるスタッフは少ない。				
区域でシェアしたい取組	市域で共有・検討したい課題				
保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会等の担い手を育成する取り組みとして、「顔の見える関係づくり」の継続、保土ヶ谷区横のつながりの強化を研修や各部会での関わり合いを通して活用していく。	・人材不足は顕著、代替案等を検討したい。 ・NPO、障害者・児支援の活動内容や実態のアピールをもっと大きく行う。市民の方に現状理解が不十分。				